

JTRニュース



JAPAN TRANSPLANT RECIPIENTS ORGANIZATION

編集：NPO日本移植者協議会



大阪市北区南森町2-3-20プロフォートビル507号
TEL06-6360-1180 FAX06-6360-1126



新緑の箕面滝

日本移植者協議会関連の行事のお知らせ

震災対応を考える

「東日本大震災」でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げます。
また被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに被災地の一日も早い復旧復興を願っております。

このM9.0の大地震、想定を超える津波、福島原発の被害、度重なる余震、風評被害と次から次と不安要素があります。避難先での生活では、衣食住が殆ど満たされないのが現状だと思います。

被災地での苦境の中で移植者の方々が何を悩まれ、何を求められたか。患者会として、何をしたか、何ができたかを考え込んでしまいました。また今回の大震災で会員の方々の安否確認も少数であり、日常の中で準備ができていなかったことが悔やまれます。

災害時、状況を確認するにあたって電話、携帯電話では通話規制があり、繋がらない。やはり各社のメール、災害用伝言ダイヤル、ツイッターなどを駆使した体制を作り出すことが必要であると思います。

また病院も被災3県で7割が休診、1ヵ月後も2割の病院が通常診察に戻っていないとも報道されています。私たち移植患者が通う病院への被災、診療支障の有無も情報としてあるべきだと思います。

病院がなくなるとも思わないですし、服用する薬が処方されないとも思っていない。水が手に入らないとも思っていないのが日常ですが、理事会、勉強会で災害時対応を話合って準備をしていきたいと思っています。会員の方々のご意見もいただきたいと思っています。

私たちは、体重管理、血圧管理とともに薬の服用、水分摂取を指示されています。何れも長期生着には欠かせないものです。前号で「私の服薬管理」を田淵さんが投稿いただきました。その中で8時間毎の服用、飲み忘れ、過剰服用等習慣的な生活の中での注意点を、また旅行時に旅行カバンと手荷物への分散して持つて行くなど記載いただきました。それに加えて、災害時を考えるならば自宅でも分散すること、職場など複数の場所に分けて保管することも必要でしょうし、外出時、国内旅行でも数日分を常に持ち歩くこともお奨めします。常にマスク、手洗い・うがいの備えも考える必要があります。

今、地域で冷蔵庫に「氏名」「生年月日」「血液型」「通院先」「連絡番号」「既往症」「服薬一覧」を記載して、筒状のものを入れておく、玄関と冷蔵庫に入っている表示をする緊急時対応が進められています。また財布等に前記内容を記載したメモを常に持参することも大切です。

その他にご家族に薬の処方箋を渡しておく、移植施設の連絡先も家族に伝えておくことも必要です。

災害時の家族間の連絡も必要不可欠です。日頃から家族、親族、ご近所、友人間で話合って、安否確認等の連絡先を予め決めておくも重要なことだと思います。

また事前に関係機関がネットワークを組み、広範囲な災害では、被災地で各々が安否と困窮状況を発信し、それに応えて近隣若しくは被害が出なかった仲間が緊急時の連絡網を使って被災地の外から必要な情報発信するなど日常の備えを形作っていききたいと思っています。(文責：下野)

3月19日の理事会におきまして、被災された方々に私たちが出来ることをしたいとの思いから会員及び関係者の方々に義援金の募集を呼び掛けさせていただくことになりました。

既にホームページ上で募集させていただいております
お寄せいただきました義援金は、日本赤十字社を通じ、被災者の方々に届けさせていただきます。ご送金いただく際は、「東北関東大震災義援金」と記載して下さい
郵便振込 00990-6-46877

口座名「NPO日本移植者協議会」

ドナー慰霊祭

日時:平成23年5月29日(日)

午前10時30分～ (受付 10時)

場所:覚王山日泰寺(名古屋市千種区法王町)

地下鉄「覚王山」下車、徒歩7分

参加:一人1,000円

主催:NPO日本移植者協議会東海支部

協力:覚王山日泰寺

(株)一柳葬具總本店

NPO日本移植者協議会これからの活動のおしらせ

国際漫画シンポジウム展（東京）「臓器移植～いのちの贈りもの～」

2011年5月1日（日）～5月5日（木） 10時～17時

（但し5月1日は14時から最終日は15時までとなります）

会場：東京都庁第一庁舎45階南展望室 東京都新宿区西新宿2-8-1

主催 特定非営利活動法人日本移植者協議会

共催 国際漫画シンポジウム実行委員会 FECO JAPAN

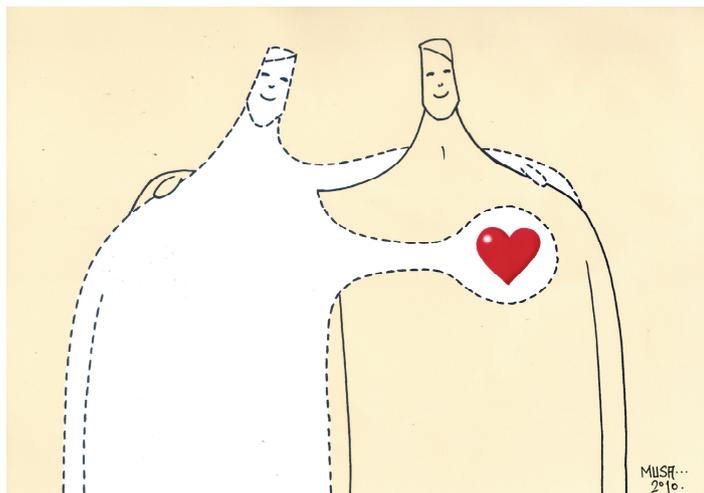
後援 厚生労働省、東京都、（社）日本臓器移植ネットワーク、日本移植学会他

日本移植者協議会では、改正臓器移植法が昨年7月に施行されるのに合わせて全国各地で様々な普及啓発活動を行ってきました。その一つとして当協議会としては初めて「臓器移植～いのちの贈り物～」をテーマに国際漫画シンポジウム展を鹿児島県歴史資料センター黎明館において開催致しました。今回の国際漫画シンポジウム展は、鹿児島在住の漫画家の坂井貞夫氏がコーディネーターとして、世界各地の漫画家に呼びかけて実現しました。この度、東京都庁45階南展望室において国内で2回目として「臓器移植～いのちの贈りもの～」国際漫画シンポジウム展を開催することになりました。

私たちは、世界の漫画家に「医学の進歩は人間の生命をめぐる新たな治療を生み出します。中でも移植医療は急速に進化し、多くのいのちを救い希望をもたらしています。今回の国際漫画シンポジウム展のテーマは「臓器移植」です。臓器移植は善意による「いのちの贈りもの」であり、臓器移植について考えることは「いのち」そのものを考えることです。世界各国の臓器移植に関する現状を、漫画家であるあなたの倫理観と人間愛によって描いてください。世界中の漫画家たちの作品が、新しい時代に戸惑う多くの人々に語りかけ、理解と議論を深めるきっかけとなることを願っています」と呼びかけました。その結果、今回は世界16カ国から約80展の作品が寄せられました。どの作品も臓器移植、臓器提供をその作者なりに考え表現しています。それぞれが個性的であり、深く考えさせられる素晴らしい作品ばかりです。

この国際漫画シンポジウム展は、一般の方々に今までと違った形で臓器移植、臓器提供を考えていただく切っ掛けになることと思います。この展覧会が少しでも日本の移植医療の普及に役立つことを願っています。

関東方面にお住まいの関係者の方々には是非ご覧いただきたいと思います。また会場見回りをお手伝いいただくボランティアも募集しています。お手伝い戴ける方は事務局までご連絡ください。



ギフト・オブ・ライフ15周年記念作品展 集まれ子どもたち！！ 「子どもたちの絵画教室」

当協議会は、1991年の発足以来様々な臓器移植の普及啓発活動を行っております。その一つとして1994年京都で開かれた国際移植学会に合わせて初めてギフト・オブ・ライフ「移植を受けた子どもたちの作品展」を開催し、その翌年から15年間に亘り全国各地で600回以上開催してきました。昨年7月から15周年を記念して新たに募集した作品に加えて、この15年を振り返る作品をも加え作品展を全国で開催しています。移植により「いのちを贈りもの (Gift of Life)」を受け元気になった子どもたちの作品には生きる喜びがあふれています。これらの作品を通して、移植医療の素晴らしさを知っていただきたいと思えます。なお今回の記念作品展は現在開催中で5月8日（日）が最終日です。

日時：2011年5月5日（木）午後1時受付 午後1時30分から午後3時30分

会場：枕崎市文化資料センター南浜館展示室 枕崎市山手町175

参加資格：中学生以下、会場の関係上先着30名までとさせていただきます。

参加費：無料。使用するクレヨンなど画材は主催者が用意し、終了後参加者に差し上げます。また入賞した子どもたちには、賞状と記念品を贈呈致します。

お絵かき教室終了後、楽しい子どものためのコンサートと表彰式も行います。

どうか、いま生きている喜びを力いっぱい元気に表現してください。こどもの日を楽しみましょう。

主催：特定非営利活動法人日本移植者協議会、鹿児島県移植者の会

後援：厚生労働省、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、枕崎市、枕崎市教育委員会、鹿児島県医師会、
社団法人日本臓器移植ネットワーク、日本移植学会、臓器移植患者団体連絡会ほか

ドナーとファミリーに感謝する集い —ありがとう、いのちの贈りもの—

私たちは、2001年第13回世界移植者スポーツ大会を神戸で開くのに当たり、移植者からドナー・ドナー家族に感謝のメッセージを送りたいと思っておりました。

そこで日本で初めて2001年8月世界移植者スポーツ大会の開会に先立ち「感謝の集い」を開きました。そして世界移植者スポーツ大会においても初めて開会式の入場行進にドナー家族が行進し、会場いっぱいの大きな拍手に迎えられたときの感動は、今でも忘れられません。

この大会からドナー家族と私たち移植者は心と心のきずなで結ばれ、その後2003年からの「生命・きずなの日」記念祭に引き継がれています。また臓器提供者慰霊祭や全国移植者スポーツ大会、グリーンリボンランニングフェスティバル、移植フォーラムなどの様々なイベントにドナー家族の方々にご参加いただき、交流を深めてきました。

今年は、初めての「感謝の集い」から10年が経ち、交流するドナー家族の方々の輪も広がり、その関係にも変化が現れてきました。そこで今年は、原点に戻り「感謝の集い」として開催することに致しました。

昨年7月に改正臓器移植法が施行されました。この施行にあたり私たちはドナー家族へのケア、フォローが最も重要と関係機関に訴えて来ましたが、私たちが目指すドナー、ドナー家族の方々が讃えられ、尊敬される社会の形成はまだ道半ばです。

この「感謝の集い」を通じてドナー家族の方々に私たち移植者からの感謝の思いを伝え、より一層心と心のきずなが深めるとともに一般の方々へドナー、ドナー家族への理解が広がるとともに、少しでも日本の移植医療の理解普及に役立つことを願っています。

日時：平成23年5月14日（土）12：30～15：30（開場12時）

会場：全電通ホール（全電通労働会館）TEL03-3219-2211 東京都千代田区神田駿河台3-6）

主催：特定非営利活動法人日本移植者協議会／社団法人日本臓器移植ネットワーク

後援：厚生労働省・日本移植学会・臓器移植患者団体連絡会

参加費：無料

プログラム（敬称略）

- 12:30 開会挨拶 大久保 通方（NPO 日本移植者協議会理事長）
司会 後藤 鏡子（NPO 日本移植者協議会）
来賓挨拶
- 12:45 第一部「素晴らしき贈りもの、いのちときずな」
ドナーファミリーからのメッセージ朗読
レシピエントからのサンクスレター朗読
「あなたを忘れない！」フラワーセレモニー
- 13:40 休憩（参加者交流・メッセージをボードに記入）
- 14:10 第二部「ハートフルコンサート」
ヴァイオリン／伊藤 佳奈子（いとうかなこ）
- 15:10 コンサート終了
参加者メッセージ朗読
閉会挨拶 山本 登（NPO 日本移植者協議会副理事長）
- 15:30 閉会
- なおホール前エントランスにレシピエントキルト及びギフト・オブ・ライフ移植を受けた子どもたちの作品を展示します。

移植医療勉強会

主催：NPO 日本移植者協議会 協賛：アステラス製薬株式会社

移植医療勉強会は、医療者や移植医療に興味のある方への勉強会で、2002年より毎年、東京と大阪において各1回、一昨年からは名古屋においても開催しています。

昨年7月17日に改正臓器移植法が施行され、わが国も漸くグローバルスタンダードの制度になりました。しかし法律が改正されたとは言え、これは新たなスタートラインにたったに過ぎず、それによって臓器移植が大きく進むわけではありません。2007年の内閣府の調査においても83%の方が臓器移植に関する情報が不足していると回答しています。特に医療者に充分臓器移植の情報が伝わっているとは言えません。移植医療の普及には、医療者を含め広く一般の方々に移植医療の正しい情報を伝え続けることが非常に大切と存じます。

今回も我が国の移植医療の第一線でご活躍の講師の先生方に、臓器ごとに移植の実際と現状についてお話いただきます。加えて臓器提供についてのお話しを提供施設の先生とコーディネーターの方にもお話しいたできます。会員の方々だけでなく医療者にもお声掛けください。

第20回移植医療勉強会

日 程 2011年5月15日（日）
時 間 午前9時15分～午後4時40分（開場午前9時）
会 場 日本教育会館9階第5会議室 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL03-3230-2831
（地下鉄神保町徒歩3分）

参加費 千円

*** * * * プ ロ グ ラ ム * * * ***

9:15 開会の挨拶 司会 大久保 通方（日本移植者協議会）

JTRニュース号外

- 9:20 1、「肝臓移植」
講師 江川 裕人 先生（東京女子医科大学消化器病センター外科）
- 10:10 2、「腎臓移植」
講師 相川 厚 先生（東邦大学医学部腎臓学教室）
- 11:00 3、「心臓移植」
講師 福嶋 教偉 先生（大阪大学医学部移植医療部）
- 11:50 休憩（昼 食）
- 12:50 4、「臓器提供-提供施設から」
講師 小野 元 先生（聖マリアンナ医科大学脳神経外科）
- 13:40 5、「臓器提供-ドナーコーディネーターから」
講師 加藤 治先生（社団法人日本臓器移植ネット）
- 14:20 休憩
- 14:30 6、「臓器移植法改正後の課題」 講師 大久保 通方（日本移植者協議会）
- 15:10 7、「肺移植」
講師 近藤 丘 先生（東北大学加齢医学研究所呼吸器外科学分野）
- 16:00 終了

第21回移植医療勉強会

主催：NPO日本移植者協議会 協賛：アステラス製薬株式会社

日 程 2011年5月22日（日）
時 間 午前9時15分～午後4時30分（開場午前9時）
会 場 大阪マーチャндаイズマート・ビル（OMMビル）2F会議室
大阪市中央区大手前1-7-31 TEL. 06-6943-2010

京阪電鉄/地下鉄天満橋駅の地下からOMMビル連絡通路があります。

参加費 千円

***** プ ロ グ ラ ム *****

- 9:15 開会挨拶 大久保 通方（日本移植者協議会）
- 9:20 1、「臓器提供-ドナーコーディネーターから」
講師 日本臓器移植ネットワークコーディネーター
- 10:00 2、「臓器提供施設から」
講師 吉開 俊一先生（新小倉病院脳神経外科）
- 11:00 3、「心臓移植」
講師 福嶋 教偉先生（大阪大学医学部附属病院移植医療部）
- 12:00 休憩（昼 食）
- 12:50 4、「肺移植」
講師 南 正人先生（大阪大学大学院医学系研究科呼吸器外科学）
- 13:50 5、「肝臓移植」
講師 吉澤 淳先生（京都大学医学部肝胆膵移植外科）
- 14:50 6、「腎臓移植」
講師 市丸 直嗣（大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学・泌尿器科）
- 15:50 7、「臓器移植法改正後の課題」
講師 大久保 通方（日本移植者協議会）
- 16:30 終了

平成23年NPO日本移植者協議会及び関連団体の活動予定

月	日	曜日	NPO日本移植者協議会 及び関連団体の活動	会場等	備考
4月	17 5/8	日～日	ギフト・オブ・ライフ 15周年記念作品展	枕崎市文化資料センター南浜館	枕崎市
5月	1～5	日～金	国際漫画シンポジウム展	東京都庁南展望室	
	3～5	火～木	第40回中之島まつり	大阪市中之島公会堂周辺	
	5	木	ギフト・オブ・ライフ 15周年記念作品 集まれ子どもたち！「子どもたちの絵画教室」	枕崎市文化資料センター南浜館	
	14	土	ドナーとファミリーに感謝する集い	全電通会館（東京御茶ノ水）	
	15	日	第20回移植医療勉強会	日本教育会館（東京都千代田区）	協賛：アステラス製薬（株）
	22	日	第21回移植医療勉強会	大阪OMMビル（大阪市中央区）	協賛：アステラス製薬（株）
	28	土	日本移植者協議会定例理事会	名古屋市	
	29	日	ドナー慰霊祭	覚王山日泰寺	協力：日泰寺・一柳葬具総本店
6月	11/12	土/日	NPO日本移植者協議会及びNPO日本移植 者スポーツ協会総会	京都	
	18～23	土～木	第18回世界移植者スポーツ大会	スウェーデン（イエテボリ）	
	26	日	埼玉県腎移植セミナー	さいたま市	
7月	3	日	移植セミナー	金沢（北國新聞社赤羽ホール）	
	30	土	第9回ローンボウルズ大会	茨戸カントリークラブ（石狩市）	NPO日本移植者スポーツ協会
	31	日	移植セミナー	KKRホテル札幌	
9月	4	日	道東腎臓セミナー	釧路市	
	11	日	移植セミナー	鹿児島市	
	14～16	水～金	第47日本移植学会	福島市	
	17/18	土/日	第20回全国移植者スポーツ大会	神戸市しあわせの村	
	25	日	移植セミナー	新潟市	
10月	23	日	グリーンリボンランニングフェスティバル	国立競技場（東京）	

最近の日本移植者協議会の活動

*腎臓移植におけるドナー検査費用の負担について

昨年からは札幌市立病院を始め生体の腎臓移植においてドナーの検査費用をドナー側の保険で賄ったり、ドナーの自己負担とする移植施設が出てきました。

ドナーは本来健常者であり、生体ドナーとなるからと言って、ドナー側の保険で賄うことは保険上認められないでしょう。また生体移植術と生体ドナー管理料が点数は低いとは言え認められており、これにはドナーの術前検査費が含まれています。もしこの時点でドナーから直接検査費を徴収したならば混合診療となるのではないのでしょうか。

このことについて早急に実態調査を日本移植学会お願いするとともに、来年の診療報酬改定に向けて生体ドナー管理料を大幅増額するよう日本移植学会とも協力して関係機関に訴えていきます。

2011年4月13日

*我が国初めての15歳未満での脳死下臓器提供に際しての声明（NPO日本移植者協議会）

4月12日、ご家族が子どもさん（10歳から14歳）の臓器提供を承諾され、我国において初めて15歳未満の子どもへ脳死判がなされ、翌13日には臓器が提供され大阪大学（心臓）、東北大学（肺）、北海道大学（肝）等で移植施術が行われました。

そこで当協議会としましては、12日午後4時に厚生労働省記者クラブにおいて記者会見を開き、意見を述べました。その際の大意をインターネット上のホームページに声明として記載しました。

*声明

この度、我が国で初めて脳死下で臓器をご提供くださったお子様のご冥福を心からお祈り申し上げます。そして尊いご提供をご決断くださったご家族に、心から感謝申し上げます。

子どもの脳死下臓器提供第一例目となることは、さぞかし重い決断であったことと推察致します。それを乗り越えられたご家族に深い敬意と尊敬の意を捧げたいと存じます。どうかメディアを含め社会としてこのご家族を暖かく見守っていただきたいと思っております。

私たちは1991年の協議会発足以来、臓器移植法の制定を求めて運動してまいりました。その結果1997年に旧臓器移植法が制定されました。私たちは、まさか子どもたちが移植出来ない法律になるとは夢にも思っていませんでした。しかし15歳未満での提供が出来ず、これまで僅か年間数人の子どもが海外へ心臓移植のために渡り命を救われてきましたが多くの子どもたちは亡くなってしまいました。

そしてまた私たちの法改正運動が始まりました。その改正までには、12年を要し、漸く一昨年7月13日、改正臓器移植法が成立し、昨年7月17日から施行されました。この結果、15歳未満での提供に道が開かれ、今日初めて15歳未満での脳死下臓器提供が行われるに至りました。これで漸く国内で子どもの心臓移植の道が開かれ、新しい時代の幕開けとなりました。

私たちは、臓器提供者とそのご家族が称えられ尊敬させる社会の実現を目指して活動しております。これからの移植医療にとって最も重要な課題は、提供者ご家族を支え、ケアとフォローを続けていくことです。私たちは、この様な社会の実現と提供者のご家族を支えるためにケアとフォローをする全国的な組織の実現に向けより一層努力して参ります。

一日も早く、一人ひとりが尊重し合い、支え合う社会が来ることを心から願っています。

特定非営利活動法人日本移植者協議会 〒530-0054 大阪市北区南森町2-3-20 プロフォートビル507号

電話：06-6360-1180 FaX 06-6360-1126